



**日本共産党区議会議員**  
**こんにちは伊藤和彦です**

自宅 足立区花畑6-20-1 電話3859-6952  
 足立区役所 電話3880-5111(内線4650-4654)  
 日本共産党区議団 直通3880-5770  
<http://www5.family.ne.jp/~k-itou/index.html>

# 第10回 区民アンケートへのご協力ありがとうございました



**2400人以上の回答**

区民から寄せられたアンケート回答

「くらしの変化」は毎年「前年より苦しくなった」が7割近く。区民生活が追いつめられている深刻な実態が浮き彫りに

**頂いたご意見・ご要望を大切に生かします**

6月に、地域に無差別で配布した区民アンケートにたいし、過去最高に迫る2400人(9月8日現在)を超える方から回答を頂きました。ありがとうございました。うち2320人分の結果がまとまりましたので、ご報告をします。

順位	内容	人数
第1位	介護・医療について	
第1位	医師、看護師不足を解消して	948人
第2位	国保料を引き下げて	924人
第3位	介護保険の負担軽減を	919人
第4位	医療費窓口負担軽減して	858人
第5位	特養ホームを増設して	816人
第6位	後期高齢者医療撤廃して	799人
第7位	ヘルパー、訪看の充実を	590人
第8位	要介護認定の見直しが必要	515人
第9位	診療報酬引き上げて	454人

子ども施策に必要なこと

第1位	認可保育園、学童保育室で待機児童解消	1290人
第2位	経済的負担の軽減	796人
第3位	子育ての不安や負担を軽減する為の相談体制	529人
第4位	少人数学級など教育環境の整備	503人
第5位	その他	93人



年代	割合	性別	人数
20代以下	5.60%	男	46.40%
30代	14.50%	女	53.60%
40代	12.00%	合計	2211
50代	12.40%		
60代	25.20%	この1年でくらしはどう変化	
70代	24.30%	よくなった	1.44%
80代以上	6.00%	変わらない	30.52%
		苦しくなった	66.77%

雇用悪化は深刻「苦しくなった」と回答した方の4割は、その原因として「給料」をあげ、その具体的な内容は、「30〜40代の解雇・失業」が増え、深刻な状況です。欧州のように政治が「雇用問題」にメスを入れることがどうしても必要と決意新たに。

区政で力を入れてもらいたいもの

第1位	医療	862人
第2位	高齢者福祉	850人
第3位	防災、震災対策	582人
第4位	防犯対策	551人
第5位	生活困難者対策	515人
第6位	保育園学童保育の増設	508人
第7位	孤独死対策	505人
第8位	出産・子育て支援	471人
第9位	学校教育	437人
第10位	ゴミリサイクル	339人
第11位	公的住宅	338人
第12位	障がい者福祉	333人
第13位	地球温暖化対策	322人
第14位	虐待防止対策	307人
第15位	緑化対策	296人
第16位	歩道のバリアフリー	286人
第17位	交通対策	250人
第18位	産業振興	174人
第19位	道路整備	160人
第20位	生涯学習	158人
最下位	都市開発	88人

**「医療」が初めて第一位に**  
 相変わらず高齢者福祉への要望は群を抜いて多いのですが、今回初めて「医療」がそれを上回りました。「お金がないから医者にかかれない」「国民健康保険料が高すぎる」「お産をする病院がなくなった」「転院をする病院が見つからない」「長年の自民党政治の「医療抑制政策」」「医療構造改革」によって、保険料も医療費負担も増え、医師・看護師不足、「医療崩壊」の危機が生み出されました。「いざという時、安心できる医療」へ決意を新たにしました(伊藤和彦)

認可保育園増設がどうしても必要!  
 子育て世代からも「子ども手当よりも、保育園の方が必要」の声が多数でした。  
 それなのに足立では、八〇〇人以上が認可保育園に入れない、それなのにつくろうとしない、逆に保育園をつぶすことまで考えていることに改めて怒りが!

**第3回足立区議会定例会が  
 9月24日から10月22日  
 まで行なわれます**  
 日本共産党代表質問は  
 伊藤 和彦議員 9月27日(月)  
 午後1時45分頃  
 一般質問 針谷みきお議員  
 9月28日(火)午後2時半頃

# 日本共産党 足立区議団 中小企業支援のマッチングクリエーター (MC) と産業支援策について懇談会開く

## 中小企業・業者の悩みを 聞いて解決のお手伝い

9月8日(水)、日本共産党足立区議団は区内中小企業を直接、訪問し悩みごとや支援策をアドバイスするなど多面的な活動をしているマッチングクリエーター(以下「MC」といふ)と懇談会を開き、区内中小企業の現状と区の支援策でどんなことが必要か話し合いました。



写真上は懇談する区議団下は産業センター1階ロビー



マッチングクリエーター5名のみなさん 産業センター 9月8日

### トータルマッチング事業とは?

平成20年4月より実施している新事業です。この事業は区内中小企業の皆様に、数多くある中小企業支援制度をニーズに合わせて紹介するものです。受発注案件の収集・紹介や企業情報の蓄積も行っています。この事業は「MC」が区内中小企業を直接訪問しています。訪問先では中小企業の公的

制度に関する質問相談をうけます。

今までに中小企業が知ってほしいこの制度を利用したの

に、「...」という業者を少しでも減らしたいという思いで区は「トータルマッチング事業」を実施しています。

訪問件数は5名の相談員が区内の担当地域を決めて、この2年間で4836件を訪問してきました。

中小企業支援メニューとしては融資相談 経営相談 販路開拓相談 受発注紹介 セミナー・講習会 創業 経営支援などを

行っています。問い合わせは、あだち産業センター・電話は3870 8400

区内産業の深刻な実態で合意、支援策で意見交換

懇談では区内産業の多い業種としては印刷、紙業、金属加工、皮革が多いが「そのまま放置すれば衰退に歯止めがかからない」「家内企業では最近、代金回収ができず泣き寝入りしている業者がいる。小額訴訟制度を知らせてあげれば相手にプレッシャーをかけられるが、それさえ知らな

い実態がある。また、売り上げが落ちて銀行への返済が滞るようになったときに、返済猶予ができるのに、銀行が渋るケースがある。金融庁が通知をだして返済猶予できるので知らせてほしい」と報告されました。

「後継者がおらず、経営意欲がなくなっている業者の方も多い」と深刻な実態が報告されました。

大田区の直接支援も効果ある

区の産業支援策にういては大田区が実施している町工場に50万円の直接支援についてどう思うかと聞いたところ、「一律ではなく、パ

内容	件数
訪問企業数	4,836社
制度融資への誘導・紹介	831社
区・東京都中小企業振興公社への登録・紹介	602社
BtoB(企業間マッチング)	202件
その他(各種制度への誘導・紹介など)	364件
予後訪問件数	177件
産業センター新規登録件数	1,576社

## 第18回 北部ふれあいまつり



10月24日(日)

午前10時開会

区立陣川戸公園(保木間5丁目)

みなさんのふれあいの場です。民謡・

太鼓・文化行事や模擬店、土建花畑分

会のミニ住宅デーなど予定

第18回北部ふれあいまつり実行委員会

ソコソコの買い替え、「コト」のリース代など効果はある」と意見がだされました。異業種交流、特許申請などの相談「あだちブランド」など取り組みも紹介された。一方で、「企業のたまたみ方の支援も必要になってくると思う」という発言もありました。さらに環境・エコの業種転換も検討している業者もいる」と報告がありました。区議団としては実態をつかんでる職員の声を受けとめて産業支援策に生かすよう求めていきたいと思えます。(伊藤和彦)